

□議員名：古豊和恵

1 子ども食堂の開設支援について

論点	県内、市内の子ども食堂は、どのような状況なのか。
回答	県内では、現在120か所で子ども食堂が運営されていて、本市においては1か所のみである。

論点	本市では平成元年28年5月に子ども食堂が1か所開設されて以降増えていないが、子ども食堂の役割をどう考えているか。
回答	子ども食堂の役割として、子どもの居場所としては重要だと考えている。

論点	子ども食堂を開始したい人たちのサポート支援を市として充実させるべきではないか。
回答	子ども食堂は、単なる食事を提供する場所ではなく、家庭や学校に次ぐ居場所になり得るものと認識している。開設したいと思われる方は企画について伺いながら、私たちと共に研究していきたい。

論点	子ども食堂を地域交流拠点として捉え、地域交流センターで活動させることはできるか。
回答	地域交流センターは、その条件においてセンターで行う事業として、地域福祉の増進に関する事業を掲げるとともに、本市公民館では制限はあるが飲食を伴う利用も可能なため、子ども食堂の活動拠点として利用可能である。